

## 部活動の意義を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。8月が終わり、明日から9月に入ります。秋はスポーツの秋、芸術の秋、文化の秋ですので、今日は「部活動を考える」というテーマでお話をしたいと思います。
2. 部活動とは、学校で行う教科外の教育の一つです。英語、数学、理科、社会、国語、音楽、美術、保健体育、技術家庭の授業以外に放課後や休日などを活用して行う学校教育の一環で、文化活動、スポーツ活動、芸術活動などのことをいうと私は思っています。  
特色は、学校の施設を使用する場合は無料であることです。道具は、部員の皆さんが出したお金で購入したものをを使う場合や自分のものを使う場合があります。コーチなどは外部の方もいらっしゃいますが、先生方が主です。
3. このような形で行われている部活動は、教育において非常に優れたものとして世界中から評価されています。来日した外国人の中には、日本の学校を見学なさる方もいらっしゃいます。その方々が一番驚くのは、放課後に子どもたちが生き生きとスポーツや芸術活動、音楽活動をやっている姿です。  
他の国では、学校でも少しはやるでしょうが、本格的に取り組んでいるところはそんなにありません。大体は民間のスポーツ施設や文化施設などでやっていて、相当な費用が生じます。
4. 日本では自己負担のものもあるかもしれませんが、他の国の民間でやる場合と比べて低い負担です。そして、**free access**、参加したい方はほとんどが参加できる開かれた形になっています。もちろん選手になれるかどうかは別の話で、よほどスキルが高くなければ学校代表として選ばれることはないと思います。ただ、参加したい人に開かれているのは、日本の部活動の素晴らしいところだと思います。
5. 練習は毎日行う部活動もありますが、週何回という部活動もあります。練習をして成果が出ると、地区大会や県大会、関東大会、全国大会、国際大会に参加することもできます。そこで入賞することもできます。「練習は不可能を可能にする」ということばがありますが、練習次第、努力次第で学校の代表になれます。地区大会でよい成績が取れると県大会に、県大会でよい成績が取れると関東大会、全国大会、国際大会に順次参加できるという非常に恵まれた環境にあるのが部活動だと思います。

6. では、部活動を通して得られるものは何でしょうか。先ほど話した「練習は不可能を可能にする」という基本的な考えです。また、スポーツにはいろいろなルールがあり、ルールの中でプレーをするので「フェアプレーの精神」が身に着きます。仲間がたくさんいますので、「よき友」ができます。つまり、小泉信三先生がおっしゃった「スポーツの3つの宝」である「練習は不可能を可能にする」「フェアプレーの精神」「よき友」を得ることができます。
7. また、チームプレーが多いので自分のポジションは自分で守り切る、他人に頼らないで責任を果たす、いざというときは全員で協力するというチームプレーの精神が養われます。加えて、遠征に行ったり、練習試合や正式な試合であちこちに行ったりすることができます。あちこちに出掛けますので、見聞を広めることができます。そのようなことで充実した学校生活が送れるのが、スポーツ、芸術、文化の部活動だと思います。
8. 部活動を通して一つのことを成し遂げると、自信を持って生きることができ、今後の人生にも非常に役立ちます。例えば、作新学院高校の野球は素晴らしい成果をあげましたので、選手たちはこれからの人生で様々なことに自信を持って臨むことができると思います。
- また、一度行ったスポーツ・芸術・文化活動などを学校卒業後もやり続けることで、人生をよりよく生きることができます。からだが鍛えられたり、精神が鍛えられたりするので、最終的には健康にもよく、健康長寿にも役立つということだと思います。
9. ただ、先生方の負担は非常に多く、生徒の負担もかなりあると思います。保護者の負担もあります。課題はたくさんありますが、その一つ一つをうまく乗り切っていただければ、あまりある教育的な効果を得られるのが日本の学校における部活動だと思います。9月に入りましたら、ぜひ部活動に精を出してスポーツ、芸術、文化活動に励んでいただければと思います。